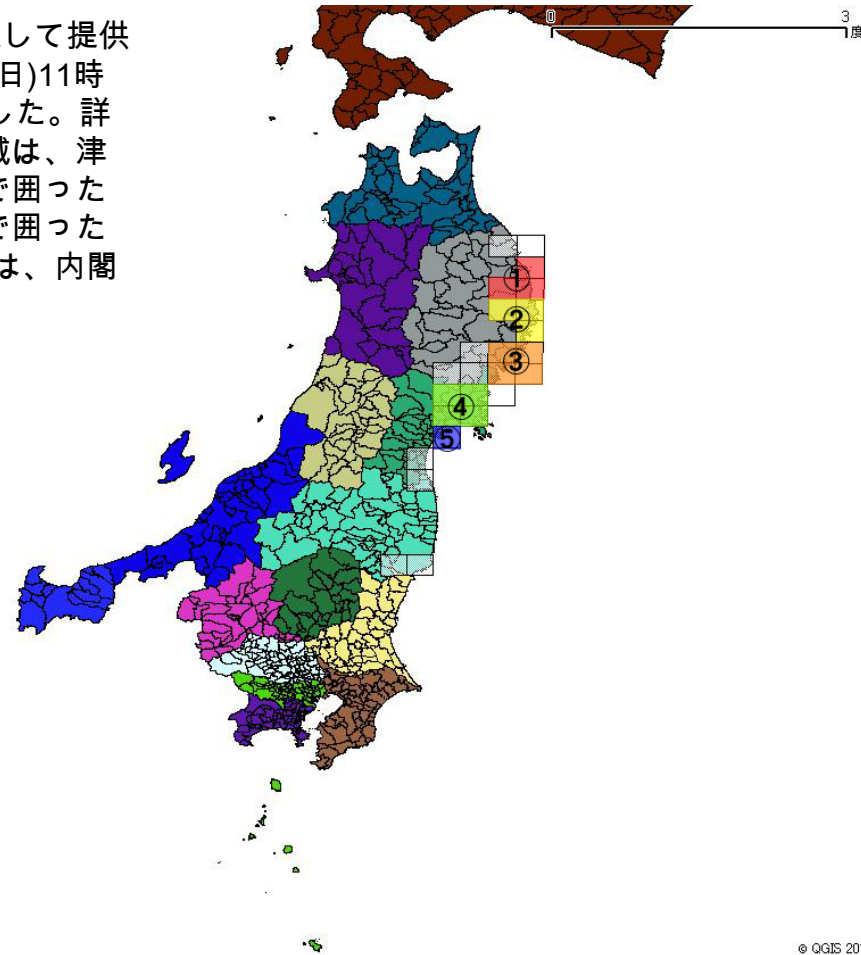


「ラピッドアイ」 (RapidEye) による 東北地方太平洋沖地震の緊急観測結果

宇宙航空研究開発機構(JAXA)では国際災害チャータ☆の枠組みを通して提供を受けたドイツのRapidEye (ラピッドアイ)により2011年3月13日(日)11時20分頃に東北地方の三陸沿岸を観測したデータの解析を実施しました。詳細な解析は今後行われますが、以下に示す画像の赤丸で囲った地域は、津波等によると思われる地表の変化が確認できました。また、黄色で囲った領域は火災によると思われる煙が確認できます。海上のオレンジで囲った領域では漂流物が確認できました。なお、なお、RapidEyeデータは、内閣府防災及び国交省河川局へ提供されました。



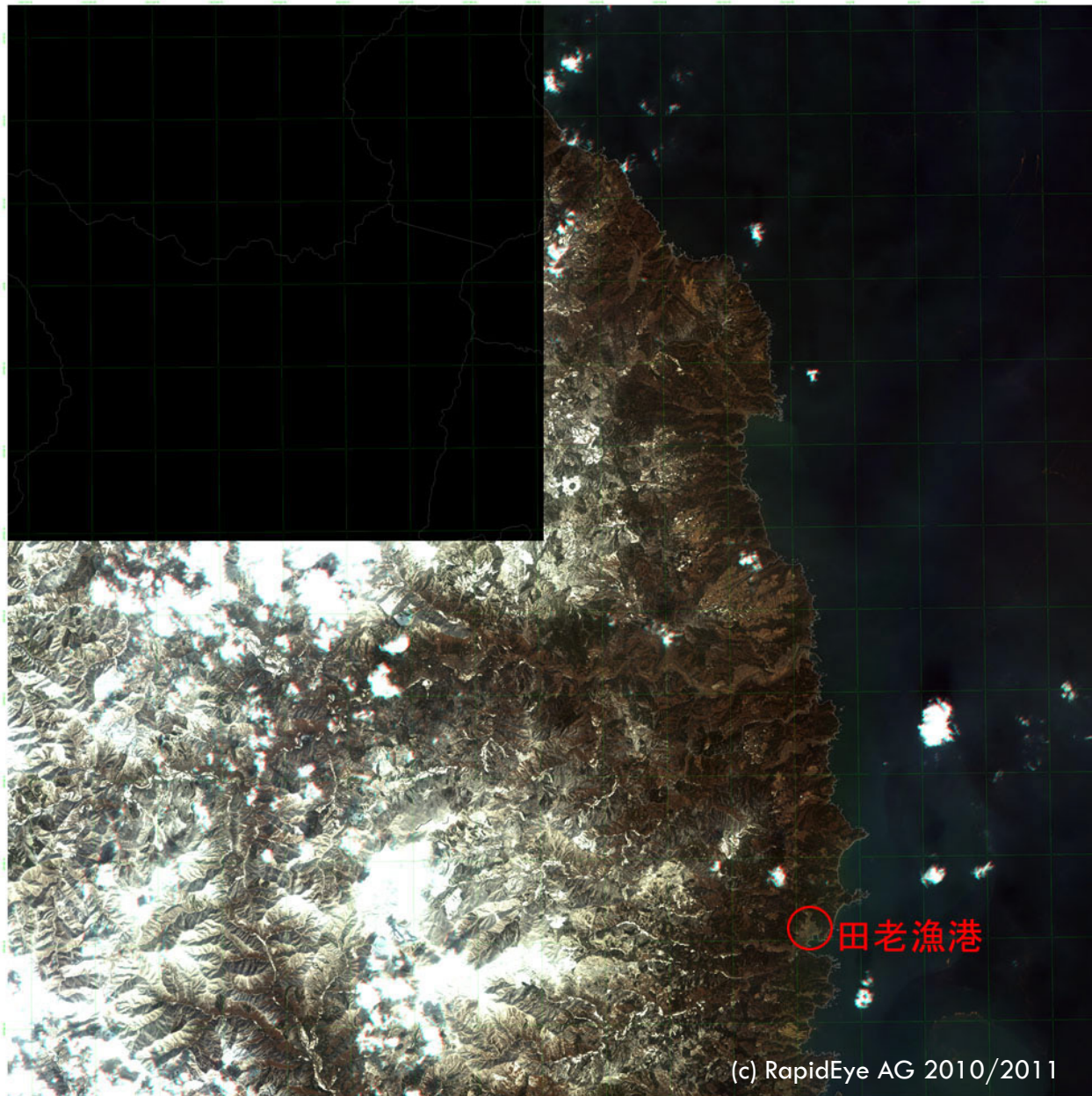
☆国際災害チャータとは

宇宙機関を中心とする災害管理に係る国際協力枠組み、通称「国際災害チャータ」は正式名称を「自然または人為的災害時における宇宙設備の調和された利用を達成するための協力に関する憲章」といいます。1999年7月、仏国立宇宙センター (CNES) 及び欧州宇宙機関 (ESA) によって発表され、翌 2000年6月、両機関長の署名を持って発効しました。2005年4月現在までに、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) を含む7つの宇宙機関が参加しています。



観測マップ

① 岩手県宮古市北部付近



田老漁港

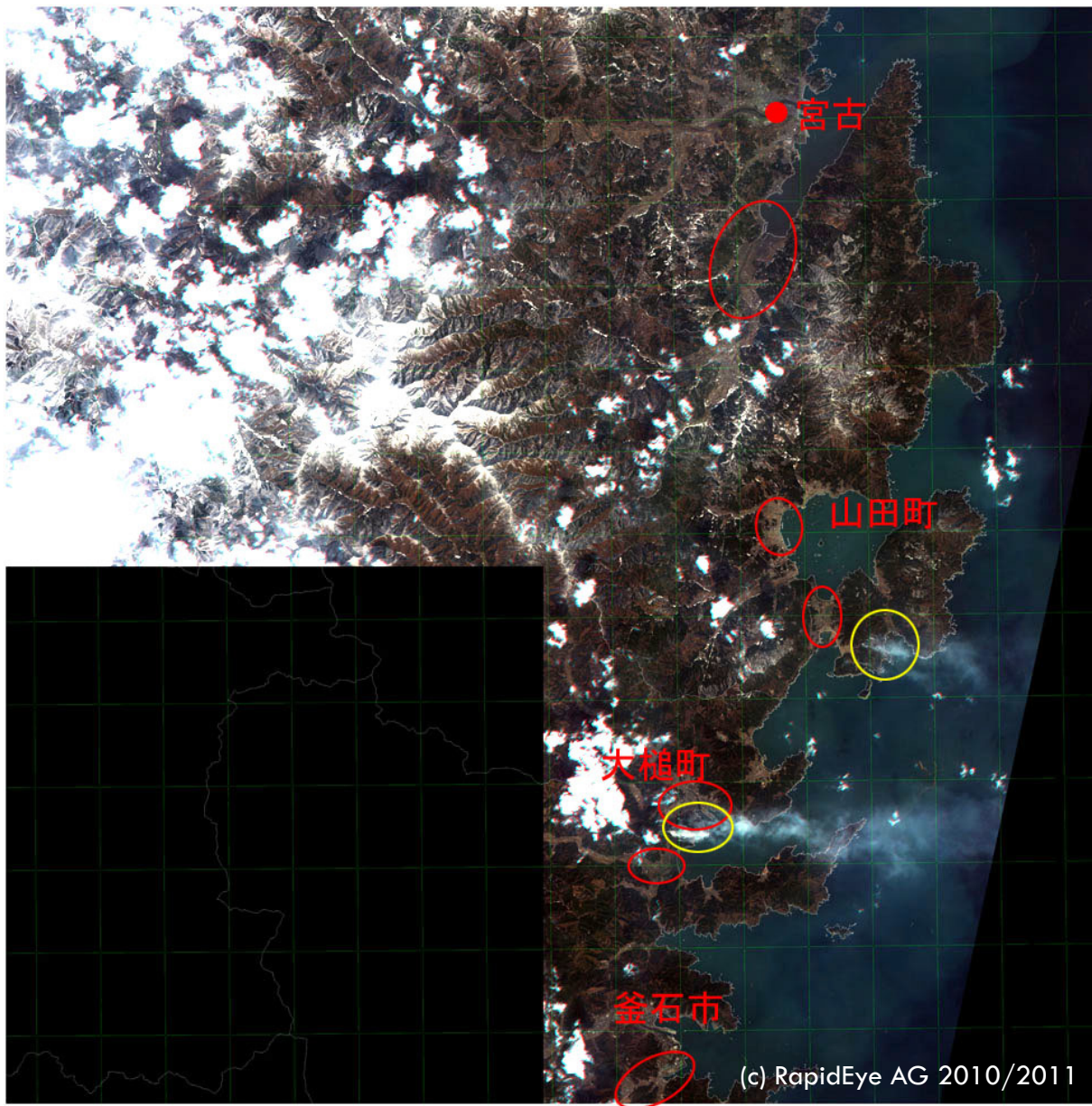
(c) RapidEye AG 2010/2011



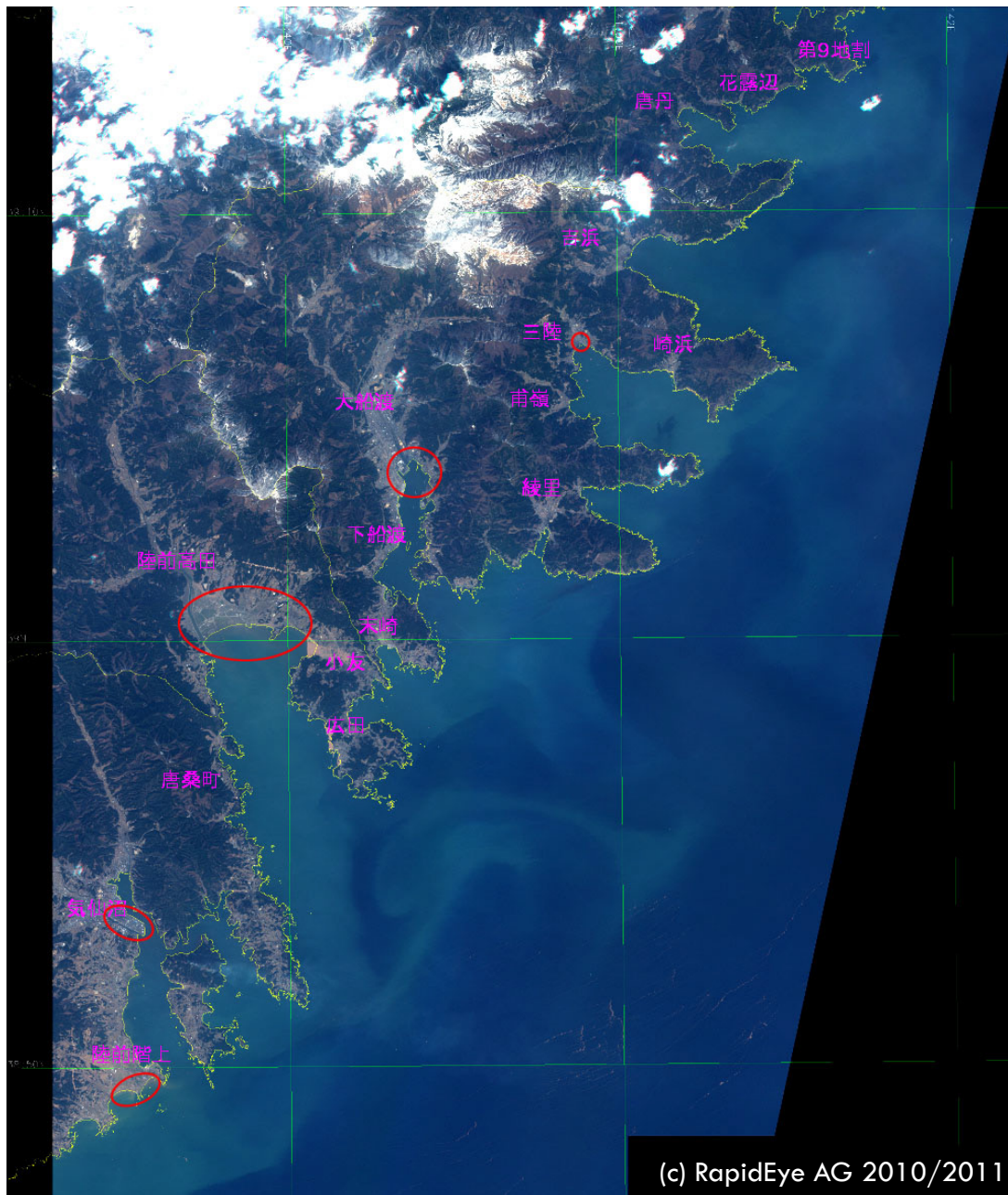
RapidEye
geo facts
turned into knowledge



②岩手県宮古市から釜石市付近



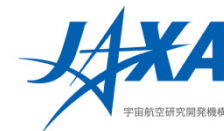
③岩手県宮大船渡市付近



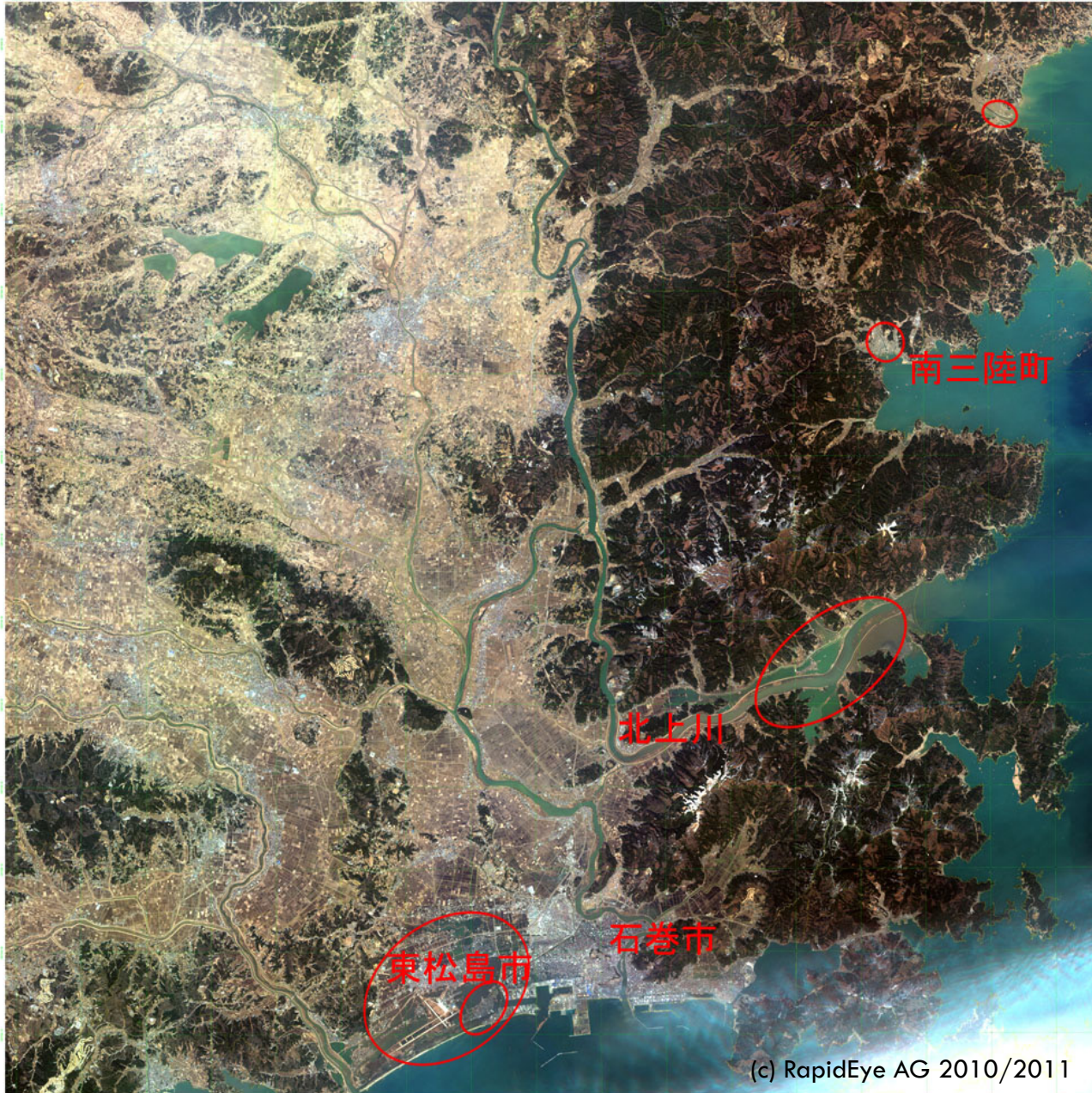
(c) RapidEye AG 2010/2011



RapidEye
geo facts
turned into knowledge



④宮城県石巻市付近



(c) RapidEye AG 2010/2011



RapidEye
geo facts
turned into knowledge



⑤宮城県塩釜市付近

